

# 有限会社谷田橋薬局

事業内容：調剤併設型薬局として、健康食品、市販薬や調剤の提供や、健康相談、各種セミナー等もしている。

創業：99年



代表取締役社長 羽鳥庸子さん

## ■長寿の秘訣や大切にされている考えなどをお聞かせください。

祖父の代から続く薬局で、私が継いで12年目になります。祖父母や両親の地域への想いが礎となり今があると思っています。

芥川龍之介さんがお得意先だった時代や、祖父の代からお付き合いのあるお客様が代々お越しくださっていたり、時代を超えた繋がりがありがたさを感じています。

経営理念である“明笑喜楽”には「三方良し」という思いが込められていて、お客様も私たちスタッフもお店も、皆がハッピーで笑顔であることで幸せは伝播していく。そのために、まずは自分自身を笑顔にすること、スタッフ同士の人間関係や店の雰囲気が良いことが大切だと考えており、「～せねば」「～すべき」といった固くなってしまおうような経営の仕方はしたくないと思っているので、「護られているという安心感」や「日々感謝を忘れないこと」が長寿に繋がる重要な考えだと思っています。

また、「あなたと健康の架け橋 谷田橋薬局」というキャッチフレーズも大切にしており、そういう場所でありたいと思っています。

## ■ご自身が就任されてから新しく挑戦したこと事例などはありますか。

調剤サービスにおいて IT 化を早くから取り入れ、お客様とのコミュニケーションに時間を充てて、人がしなくても良い、任せられる部分は機械に任せるというように作業効率化を図りました。

IT は取り入れつつ、人と人との心が繋がる時間にエネルギーを注ぐ。それを機械と人の融合として取り入れています。

その他、元々調剤室だった2階をリノベーションし、『空 ~Quu~』という多目的スペースを創設。地域が繋がるコミュニティスペースや、健康サポート活動などあらゆる活動に利用できる空間として展開しています。また、プライベートブランド『湧活 ~WAKUKATSU~』の商品発売も実現させました。

## ■これから先のビジョンや、どういった想いで頑張っていきたいと思いますか。

「犠牲と貢献を分ける」という考えをとっても大切にしており、自己犠牲で周囲に尽くすのではなく、自分の内側が喜びや愛で満たすことで、余裕が生まれ、初めて周囲に貢献することができると思っています。

つまり、自分自身の心の調整や喜ばせ続けることが大切で、その後に“貢献”があると考えています。

そうして、自分を満たすことで溢れた愛情やアイデアは、自然に周囲へ広がっていき、それらが世界平和に繋がっていくのだと信じています。

人々が本来の“氣”で生きる世界になることが私の夢なので、そのために1滴でも2滴でも貢献していきたいです。



プライベートブランドの商品「湧活 ~WAKUKATSU~」